

夕刊 磐城新聞

日六十二月二十 刊夕 磐城新聞

磐中人國記を敬目して

筆者への感謝。希望

近頃本紙上に赤井雄男氏... 磐中人國記の功成り名を挙げざる... 歴史と傳統に誇る磐中を時代にあつては何人の讀み... 値のある、最初の執筆として人の刺戟も何人もな... 絶大の敬服を寄すものつたであらう。しかし時移... 従来この種の讀み人變つた今日、これ等多... 依つて、企圖されながら、書かれてあるに... 中々實現を見せなかつたに... 鑑み同氏が著書の編輯と... 多忙な仕事に從事しな... 尚且つ調査研究、掲載... 勢を忘れず、苦心を重ね... 下さるに對して我等は同... 級の校友、關係者を代表し... 恐らく、たれ人も有するで... らう。「磐中人國記」の地... 紙の價值は、地方人士... の偉大なる教訓であり、... 係者にとつての自然のま... の縮圖として重ねて喜び... 堪えない次第である。

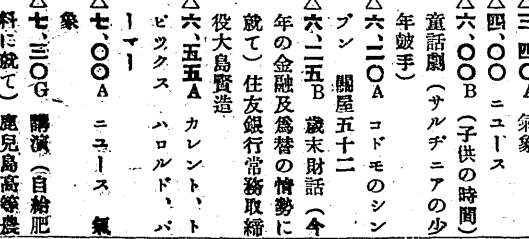
潮聲

第四十九集 天野雨山撰

庭石に露流れ居り石叩... 坂一つ越れば柿の小村かな... 落つる日の川波をそめて紅葉かな... 安らげき吾子の髪顔や秋の箱... 虫の聲澄みゆく露のさかな... 鳴く虫の中に灯せる篝かな... 張り立ての障子はなや灯影かな... 裏庭の柿も半のひびきかな... 野分すや峯刷きおろす雲迅し... 見難はる、梨や葡萄や枕元... 奉納の草鞋古いたる落葉かな... 人行けば落葉の風の山路かな... 秋も早や枯色見ゆるさかな... 草の實をしめて歩く等のあり... 鐘の音のひびく露の谷間かな... 加 章

新刊紹介 詩南車(第廿九輯)来る... 二十日発行(短歌)一... 郎、寛、青南、顯、甫、... 英尾其他(詩)甫、歌二... 其他、他に一九三二年の... 回願、詩讀を歌二、歌讀... を英尾、夫々執筆、讀み... ことへのあつた編輯ぶり... である。(頒價十五錢半町... 五丁目二八共社)

お蘭陀お蝶 (217) 渡邊 誠作... 布 施長 春 露... 「へー病氣にや、お蝶が... それは大變、名譽でも癒さ... れないといふくらゐでは... 程の御難病と見えまする... 一体何といふ盛で」... 「あ、喉が腫れたんで... 矢張風邪かな」... 奥平は真面目だ、宗哲は... ブツと失笑した。... 「恐れ入つた御挨拶だ、... と云つても未だ病ひつた... 譯ではない、病うやうにな... たらうから、病うやうにな... い先にかお氣の休まるし... たらうから、病うやうにな... たらうから、病うやうにな...



お蝶は、大きくなったな

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」... 「おもちやも買つてや... 三十五六の女です... 油けもない髪は毛が... ばさばさこぼれる夜でし... た。」

前田 醫院 院長 前田 清美 横田町電話二二四

金銀高價買入 根本時計店 電話六〇七番

移轉御披露 渡部外科 電話二七七

吉田眼科病院 平町紺屋町

吉田眼科病院 平町紺屋町

開業廣告 醫學博士 渡部 義夫 小兒科 渡部 義子

移轉御披露 各位益々御清邁奉賀候、今回御最良様の御勤めにより三好家向の新築家屋に移轉致し清潔と勉強をモットーとして營業致候間舊に倍し御引立を仰ぎ度奉願候也。

淋藥界の最高權威 無効返金(二日間服効なき時は) 別府皮膚藥 金三十錢

吉田眼科病院 平町紺屋町

純國産式縫 能率優秀、機械堅牢、價格極廉

記念二割引特賣 期間十一月十五日ヨリ一月十五日マデ 伸好堂選セントラル萬年筆

梅月食堂 其れは時代の要求である。 何が梅月をそうさせたか

あかや洋服店 御愛顧に報ゆる大奉仕!

月曜論壇

勇敢な半警官局
小名濱築港の主任技師
愈々本日で收容とれん
醜穢な事件の清算近づく

小名濱築港事務所長内務技師...
一面比較的早期の発見に...

警炭への給水料と
五百俵拂下げ決議
廿四日の平町年末町會

大ホラの西澤忠作は
炭鑛専門の常習詐欺
餘罪も出てけい検事局送り

投機心に崇らる
彼が邪道を辿るまで
赤井嶽男記

警中人國記
警中騒動後日譚
大越大尉の鐵案

郡警師總會
來春マルトモで
石城郡警師會第二十六次定

助成會から惠む
町内貧困者八十一戸の喜び
公金百十二圓餘を横領し

六戸師の美聲で
讀み上る歌留多
元日に詩社友の集ひ

年最後の五分間を
迫る物凄の商戦
質屋の店頭に見る
人生苦の縮圖

小名濱町會
學校増築其他協議
今年度得ん小名濱町會は

平町の盗みと告白
白河町に堂々の居を構へた
三縣荒しの賊捕はる

植田町花街總箱止め
正月の書き入れ時を控へ
目下有志が調停に奔走

共済病院案内
院長 醫學博士 石山謙
小兒科 醫學博士 石山謙

波瀾醫院
醫學博士 難波
內科 醫學博士 難波

關影商店平支店
本店 水戸線下館前
電話 六六二

日本石油株式會社特約店
關影商店平支店
電話 六六二

關影商店平支店
本店 水戸線下館前
電話 六六二

出米失敗のト底に苦惱
した結果事業資金調達のた
め他人の網を賣却した事

郡警師總會
來春マルトモで
石城郡警師會第二十六次定

助成會から惠む
町内貧困者八十一戸の喜び
公金百十二圓餘を横領し

六戸師の美聲で
讀み上る歌留多
元日に詩社友の集ひ

平町の盗みと告白
白河町に堂々の居を構へた
三縣荒しの賊捕はる

植田町花街總箱止め
正月の書き入れ時を控へ
目下有志が調停に奔走

共済病院案内
院長 醫學博士 石山謙
小兒科 醫學博士 石山謙

波瀾醫院
醫學博士 難波
內科 醫學博士 難波

關影商店平支店
本店 水戸線下館前
電話 六六二

職業に一六銀行がある！
職たる空つ風に翻れる
「質屋の暖簾を捲つて半

小名濱町會
學校増築其他協議
今年度得ん小名濱町會は

平町の盗みと告白
白河町に堂々の居を構へた
三縣荒しの賊捕はる

植田町花街總箱止め
正月の書き入れ時を控へ
目下有志が調停に奔走

共済病院案内
院長 醫學博士 石山謙
小兒科 醫學博士 石山謙

波瀾醫院
醫學博士 難波
內科 醫學博士 難波

關影商店平支店
本店 水戸線下館前
電話 六六二

日本石油株式會社特約店
關影商店平支店
電話 六六二

關影商店平支店
本店 水戸線下館前
電話 六六二

英四郎(會志)は去月二十四日
同村渡邊宮山名隆貞方庭
前に於て渡邊孝平と口論し

平町慶弔録
新川町二丁目大坂西區三木町
北町二丁目大坂西區三木町

共済病院案内
院長 醫學博士 石山謙
小兒科 醫學博士 石山謙

波瀾醫院
醫學博士 難波
內科 醫學博士 難波

關影商店平支店
本店 水戸線下館前
電話 六六二

日本石油株式會社特約店
關影商店平支店
電話 六六二

關影商店平支店
本店 水戸線下館前
電話 六六二

關影商店平支店
本店 水戸線下館前
電話 六六二

關影商店平支店
本店 水戸線下館前
電話 六六二